

施策評価シート (平成25年度の振り返り、総括)

作成日 平成26年 04月 02日

施策 No.	43	施策名	広域行政・地域連携の充実
主管課名	総務課	電話番号	0285-83-8106
関係課名	企画課、安全安心課、健康増進課、国保年金課、商工観光課、環境課、建設課、学校教育課、生涯学習課、都市計画課		

施策の対象	市民、地域連携をしている自治体								
対象指標名	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度見込
人口	人				82,584	82,136	81,511	80,929	85,500
75歳以上の高齢者	人				8,319	8,383	8,540	8,554	8,675

施策の意図	・広域行政・地域連携により、対象となる市民に効率的かつ利便性のある行政サービスの提供を図る。								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	・芳賀地区広域行政事務組合、栃木県後期高齢者医療広域連合及び他地域との連携による、真岡市以外の行政サービスの事務数でみる。 なお、芳賀地区広域行政事務組合により共同処理している行政サービスに関する成果指標の実績値は、平成19年度までは、消防、救急医療、し尿処理、斎場、教育、公設市場の6事務と、旧二宮町との一部事務組合で、平成21年3月22日まで運営を行っていたごみ処理事務の計7件であったが、平成20年度からは、市勢発展長期計画の施策の成果目標に基づき、芳賀地区広域行政事務組合同規約で規定している事務の数に変更した。 続きは「補足事項」欄に記入								
成果指標名	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度基本計画目標値
芳賀地区広域行政事務組合により共同処理している行政サービスの数	件				17	17	17	17	17
栃木県後期高齢者医療広域連合により共同処理している行政サービスの数	件				5	5	5	5	5
相互協力ができている行政サービスの数	件				3	3	3	3	3
栃木県市町村総合事務組合により共同処理している行政サービスの数	件				4	4	4	4	—

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	将来、環境対策や福祉対策など、一つの市町村では対応が困難になってくる行政分野において、広域行政・地域連携を推進し、構成あるいは連携市町村相互の行政効率を高める必要性が予想されるが、その計画、運営にあたっては、住民等の参加を求め、地域の合意形成を図る。
-------------------------	---

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

（１）施策成果の時系列比較（過去３年間の比較） 行政サービスの一層の専門化や高度化が求められ、広域的な視点から連携・調整して行政を進めていくことが必要となっている。

（２）近隣他市との比較 少子高齢化の進行、日常生活圏の拡大・広域化、効率的な行政運営への要請など、市町村を取り巻く環境は大きく変化している。このような状況に的確に対応し、市民サービスの向上に努めていくためには、単独で行うよりも、近隣の市町村同士が連携・協力して行う方が、効率的なサービス提供が行えるものについては、広域的に対応していく必要がある。

このようなことから、栃木県内には、芳賀地区行政事務組合の他、那須地区広域行政事務組合、小山広域保健衛生組合など１７の一部事務組合があり、それぞれの施策を遂行している。

なお、共同処理している事務数は、芳賀地区行政事務組合が１７、那須地区広域行政事務組合が１２、南那須地区広域行政事務組合が９の順となっている。

（３）住民期待水準との比較

市民意向調査で、真岡線の利用頻度は、月に１回以上利用する人が２.２％、ほとんど利用しない人は９６.６％であり、高くはない。

【広域行政：１７事務】

・ １市４町で共同処理している芳賀地区広域行政事務組合の事務には、広域市町村圏計画の策定を始めとして、消防、し尿処理、斎場、救急医療、教育、公設市場、ごみ処理施設建設に関する事務等１７件がある。芳賀地区広域行政事務組合を組織する１市４町の人口は１４７,１０４人（２６年５月１日現在、県毎月人口推計結果）で、面積は５６３.９３平方ｋｍであり、本市はその人口の５５.２％を、その面積の２９.７％を占める。

・ 芳賀地方の広域行政のために、県が１億円、１市５町で９億円（真岡市２９７,０３７千円、旧二宮１１８,３９５千円）の合わせて１０億円の出資金で、「ふるさと市町村圏基金」を設置し、これを原資として、真岡線ＳＬ運行事業や観光ＰＲ事業などを支援している。

【後期高齢者医療広域連合：５事務】、【地域連携：３事務】、【栃木県市町村総合事務組合：４事務】の個別事務については、補足事項に記入

25年度の  
評価結果

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

【広域行政】

・平成21年1月に策定した、芳賀地区循環型社会形成推進地域計画に基づき、循環型社会の実現を目指し、広域ごみ処理施設の建設工事と最終処分場の建設計画に取り組んだ。広域ごみ処理施設（芳賀地区エコステーション）は、平成26年4月からの本格稼働に向け進めた。

また、平成26年1月に芳賀地区循環型社会形成推進地域計画（平成26年度～30年度）を策定した。

・平成25年度に芳賀地区観光推進協議会が組織され、広域的な観光PRと誘客を図っている。

【地域連携】

・真岡線利用促進策として、各沿線自治体で高齢者による真岡線を利用した施設の相互利用を行うとともに、幼稚園や小学校の真岡線利用に交付金を支給し利用促進を図っている。

・沿線のイメージアップや観光振興を図るため、真岡線沿線自治体2市4町の共同によるSL運行事業と関連イベント等を行った。

・市町村消防の広域化を検討するため、栃木県消防広域化協議会事務局が設置され、平成21年度から県内各消防本部の内から職員が派遣されているが、その協議については、平成24年度から一時休止している。しかし、消防救急無線のデジタル化については、移行期限（平成28年5月31日）があるため、継続して協議がなされ、県域を1ブロックとした無線の広域化を図るため共同で整備することで進められている。

続きについては、補足事項に記載

25年度の  
評価結果

### 3. 施策の課題認識と改革改善の方向

・芳賀地区エコステーションの適切な運営管理と、芳賀町地内に建設を計画している芳賀地区最終処分場の平成28年度稼動に向け支援していく。

・後期高齢者医療制度については、関係機関と密接に連携を図り、適切に対応していく。なお、国においては、後期高齢者医療制度は、現在では十分定着しており、現行制度を基本としながら、実施状況等を踏まえ、必要な改善を行うことが適当としている。

・芳賀地方広域圏内の1市4町あるいは真岡線沿線2市4町が連携し、それぞれの市町の観光資源を活用した広域的な観光施策の推進を図る。

25年度の  
評価結果

## 補足事項

「成果指標設定の考え方及び指標の把握方法」の補足説明（続き）

・相互協力ができている行政サービスの数の実績値は、平成19年度までは他市町との「防災協定」と、「図書館」、「スポーツ・レクリエーション施設」、「保育所」、「老人憩いの家の施設」相互利用の5件としていたが、平成20年度からは市勢発展長期計画の施策の成果目標に基づき、行政サービスの対象を「防災協定」、「施設の広域利用」、「SL運行」の3件に変更した。

### 【後期高齢者医療広域連合：5事務】

・県内の全市町で組織する栃木県後期高齢者医療広域連合が共同処理を行っている事務は、被保険者の資格管理に関する事務、医療給付、保険料の賦課、保健事業、その他後期高齢者医療制度の施行に関する事務の計5件である。

### 【地域連携：3事務】

・地域連携に関する事務は、防災関係の協定（県内全市町、埼玉県桶川市、新潟県阿賀野市）、施設の広域利用（栃木県中央地区での図書館、スポーツ・レクリエーション施設、保育所等）、真岡線沿線2市4町によるSL運行事業に関する事務である。

### 【栃木県市町村総合事務組合：4事務】

・県内の全市町及び一部事務組合で組織する栃木県市町村総合事務組合が共同処理を行っている事務は、非常勤消防団員等に係る損害補償、常勤職員の退職手当、非常勤職員の公務災害、栃木県自治会館の設置・管理及び運営に関する事務である。

## 2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

### 【地域連携】の続き

・真岡市適応指導教室（もおかライプリー教室：学校へ登校できない児童生徒のための教室）を設置し、市内の小中学生のほか、芳賀郡内の小中学生も通級できる体制を整えている。

・こども発達支援センター「ひまわり園」（社会福祉協議会に運営委託）で、芳賀郡内他町から通所者を受け入れている（25年度4人）

・芳賀郡内の障がい者に対する適切な福祉サービスの利用支援や、就労・生活相談を行うため、芳賀地区障害児者相談支援センター（真岡市総合福祉保健センター内に設置）に業務委託し、障がい者相談支援事業を実施している。（25年度：相談員数3人、延べ相談件数634件）